

広報

あしや

2003年3月15日号
(平成15年)

No.864

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号

ホームページ

http://www.city.ashiya.hyogo.jp/

メールアドレス

info@city.ashiya.hyogo.jp



しそ森林王国交流事業 雪遊び体験(広報chで放映中)
2月23日、市内の児童40人が宍粟郡千種町へ行き、地元の児童とスノーボードなどの雪遊びゲームで交流しました。

芦屋川の桜の下、今年も四月五日(土)と六日(日)に芦屋川河畔で、「第十五回芦屋さくらまつり」が開催されます。
「第四回ワールドミュージックフェスタ in ASHIYA」などのイベントや商店街加盟店など約四十団体のにぎやかな緑日が、皆さん

「春爛漫！好きです！桜も人もこのまちも！」

第15回芦屋さくらまつり

問い合わせ 芦屋さくらまつり協議会(コミュニティ課内) ☎0797-31-2121

の越しをお待ちしています。

つづらかな春の一日をお過ごしください。

お楽しみください。

周辺道路は、全面駐車禁止です。

車での来場はお断りします。

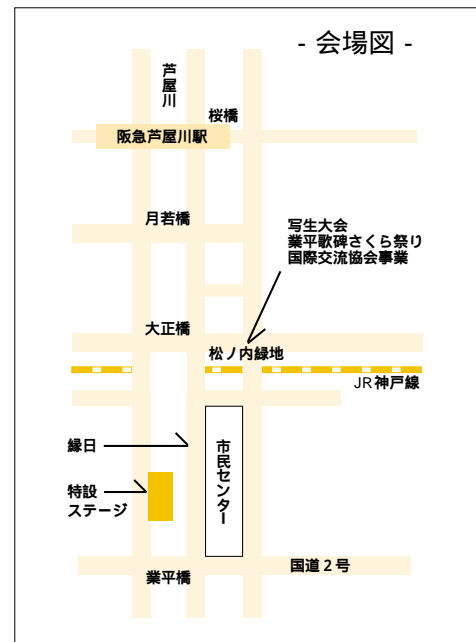
四月四日正午から六日の終日、大正橋、国道二号業平橋間は、車両

通行止めになります。

ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

詳しい内容は、三月三十日(日)の新聞折り込みチラシでお知らせ

します。



＜協賛イベント＞

芦屋川の桜を描こう！

モンテメール春休み写生大会&絵画展示会

日時 4月2日(水)午前11時～午後2時

雨天の場合、4月3日(木)

受付会場 松ノ内緑地(市民センター北側、大正橋東詰)

資格 小学生(新1年生を含む)

持ち物 画材用品(画用紙は用意します)

作品提出 当日午後2時30分まで、受付会場へ

全員に参加賞進呈

作品展示 4月23日から5月5日、モンテメール5階

応募多数の場合、名店街4階・西館3階

問い合わせ 芦屋ステーションビル㈱

モンテメール会事務局 ☎32-8011

業平歌碑さくら祭り

日時 4月5日(土)午前11時～

会場 松ノ内緑地(市民センター

北側、大正橋東詰)

内容 献句、短歌朗詠

問い合わせ 芦屋文化友の会事務局・小松 ☎31-0960

ダイヤブロックであそぼう～何ができるかな～

日時 4月6日(日)午前11時～午後4時

会場 松ノ内緑地(市民センター北側、大正橋東詰)

内容 ダイヤブロックで遊びながら何でも好きなものを創ってください

参加費 100円

*参加者にはお土産もあります

問い合わせ 国際交流協会 ☎34-6340

＜芦屋さくらまつりイベント＞

4月5日(土)

午前11時～午後8時 緑日

午後1時～1時15分 オープニング・セレモニー

午後1時15分～4時 イベント

吹奏楽演奏「市内中学校吹奏楽部」、箏曲演奏「兵庫県立芦屋南高等学校邦楽部」、叙情歌コンサート「風音舎」、ふる里コンサート「青山浩志ミニライブ」

午後5時～7時 第4回ワールド

ミュージック フェスタ in

ASHIYA

開催時間内
大阪芸術大学
～むつごろう雑技団～の
ストリート・パフォーマンス
両日とも出演。
会場内を
探してください

4月6日(日)

午前11時～午後8時 緑日

午後0時30分～3時 イベント

芦屋市婦人会フラダンスチーム、アコースティックジャズ「ジュスカ・グランペール」ゴスペル「a piece of the earth」、甲南高等学校「Tommy」ジャズライブ

午後4時～7時 第4回ワールドミュージック フェスタ in

ASHIYA

午後7時～7時15分 さくらまつり協賛「海外旅行」抽選会

女性センターフェスタ

～共に生きる～

問い合わせ 女性センター ☎38-2023

「共に生きる」参画社会をめざして今年もフェスタを開催します。申し込み不要です。当日、直接会場へ。

日時 3月16日(日)午前10時30分～午後3時

会場 女性センター

ラ・モール芦屋1階アトリウム

キャラバンパネル展

「女性の政治参画と市川房枝」

自由民権運動期の女性たちの活動から、現代までをパネルと写真で紹介。

期間 3月15日～23日、午前9時～午後9時(日曜日・祝日は午後5時まで)

会場 市民センター別館常設展示場

問い合わせ 女性センター ☎38-2023

講演会「共に生きる

～市民による社会活動とその可能性」

時間 午前10時30分～正午

講師 相川康子氏(神戸新聞社論説委員)

定員 先着40人

プログラム

ディベート大会「女性専用車両は必要か！」

午後1時～2時

絵手紙体験

午後1時～2時30分

みんなでうたおう演奏会

午後1時30分～2時

午後2時45分～3時

バザー

午後0時30分～

喫茶「のぞみ」

正午～売り切れまで

ランチ・ケーキなど

展示

写真展「共に生きる」

グループ情報誌展

グループ活動展

共同制作 みんなでつくろう「希望の樹」

色紙に思い思いの言葉を書いて、大きな樹をつくりましょう。



凡例... 日時(日程)、開会場・場所、図内容、対象・定員、講師、開出演、費用(記載の無い場合は無料、所持物、開申し込み、開問い合わせ)

ごあんない Report

お知らせ

ジュニアクラブ参加者募集
4月から平成16年3月、毎週月曜・火曜・木曜・金曜日の15時30分~17時 開新小学1年生から3年生、4人(多数の場合は抽選)。金曜日とその他の曜日を含め、週2回以上出席できるかた 開造形活動やミニスポーツほか 開月1,000円 開はがきに、教室名・学年・住所・氏名・電話番号と参加曜日を記入し、3月22日(土)までに右記へ 開&開児童センター(上宮川文化センター内 22-9229 659-0061 上宮川町10-5)

しろう森林王国交流事業・参加者募集
開森を知り、森で遊び、そして森をつくるをテーマに交流し、植樹活動を実施 開4月29日(火・祝)6時50分に体育館 開青少年センター集合、18時40分開着予定 開フォレストステーション波賀(栄栗郡波賀町) 開小学4年生~6年生、50人(応募多数の場合は抽選) 開500円 開水筒・汗ふきタオル 開往復はがきに、住所・氏名・年齢・性別・学年・電話番号を記入し、3月31日(月)<必着>までに右記へ 開スポーツ・青少年課(22-0358 659-0072 川西町15-3)

第一期やさしい気功教室
開4月10日~6月12日(全10回)10時~11時30分 開NPO気功協会理事・津山鮎子氏 開体育館・青少年センター多目的室ほか 開20人(16歳以上) 開8,000円 開3月16日(日)11時から先着順(電話予約可) 開スポーツ振興課(31-8228)

大人のための楽しい英語教室(入門)受講生募集
開4月7日から、毎週月曜日10時~11時45分 開17人 開月3,500円(4~7月分前納)、年会費2,000円、テキスト代3,100円 開3月17日(月)から下記へ 入金先着順 開&開国際交流協会(34-6340 FAX34-6341 659-0092 大原町2-6-209 ラ・モール芦屋2階)

課税課からのお知らせ 問い合わせ 課税課 38-2015

固定資産税・都市計画税の納期について
平成15年度の固定資産税・都市計画税第1期の納期は、評価替えのため5月19日~6月2日になります。

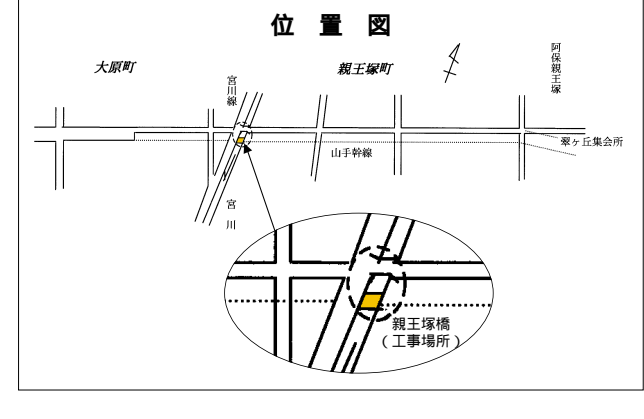
固定資産課税台帳の縦覧について
例年3月に実施していましたが「固定資産課税台帳の縦覧」は、平成15年度から4月に実施することになりました。
縦覧期間・縦覧会場等については、「広報あしや」4月1日号でお知らせします。

1時間目	00	みてみて9(番組ガイド)	6:00
	05	あしやNOW(*) フォーカス芦屋「介護保険料改定」	
	25	とびだせスタジオ あしやレポート(*)	8:30
	40	情報番組・長寿の食卓 メンバー募集・イベント情報・匠	11:00
	50	情眼の人(*) 「大森一樹さん(映画監督)」	13:30
2時間目	00	リピート9 ch [芦屋市民企画番組(*)【再放送】]	16:00
	25	「肖像でつづる芦屋の100年」(平成12年9月放送)	
	45	文字放送 「雪遊び体験交流」「潮見幼稚園生活発表会」	18:30
	50	西宮ライブラリー 町名の由来「桜町・豊楽町」	21:00
	00	ニッポンみたまま(30分)「自分は大丈夫!...と言う前に~シルバー世代の交通安全対策」	

放送時間 午前6:00~午後11:30(上記の順に午前6時から2時間30分サイクルで7回繰り返して放送します)
9チャンネルの番組に関する問い合わせ 広報課 38-2006 ケーブルテレビ全般に関する問い合わせ 開ケーブルネット神戸芦屋(J-COM Broad band 神戸・芦屋) 0120-13-8160

都市計画道路山手幹線 親王塚橋拡幅工事に着手しました

都市計画道路山手幹線(東工区)の、親王塚橋拡幅工事に着手しました。工事は、山手幹線と宮川が交差する箇所に、現在架っている幅員5.0mの親王塚橋を、22.0mに拡幅整備するものです。今回は一期工事として、橋の南側部分にあたる7.0mを6月末の完成予定で施工します。残り北側部分の15.0mの施工については二期工事として本年11月から着手し、来年6月末の完成予定です。工事期間中は何かと迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



陽光町に新店舗開設 具体化計画を進めています

「グルメシティ芦屋陽光店」が3月末で閉店となることに伴い、地域住民のかたがたにご不便をおかけすることのないよう、新店舗開設に向け、市と兵庫県企業庁・芦屋市商工会の三者で協議を続けています。
現在、生鮮食品等の品揃えを念頭に置いた新店舗開設の具体化に向け、調整を進めています。
いずれにしても、4月1日以降に旧設備を撤去し、その後、改装工事を行うこととなりますので、オープンは5月初旬になる見込みです。
工事期間中は、仮設店舗などで食品等の販売が予定されており、しばらくの間ご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

問い合わせ 経済課 38-2033

みどりの課が総合公園に移転します

4月1日から都市整備公社「みどりの課」は、南芦屋浜の総合公園(陽光町)へ移転します。
移転する主な業務は、花と緑の講習会・生け垣等緑化助成・住民緑化団体育成補助金交付・花壇管理・市民記念植樹・緑の相談(34-0031)・あしや花と緑の会事務局・緑の募金等です。
問い合わせ 都市整備公社みどりの課 38-2103

平成15年度の主な事業 (単位:千円)

(1) 活気あふれる豊かな生活環境づくり	
低公害車普及促進事業	2,946
緑化等環境保全事業助成金	6,000
活力あるまちなか商店街づくり促進事業	2,250
(2) 健やかでぬくもりのある福祉社会づくり	
南芦屋浜地区生活援助員派遣事業	41,533
在宅介護支援センター事業	30,454
軽度生活援助事業	18,906
子育て支援事業	7,396
障害者在宅生活支援事業	71,617
住宅改造成助成事業(高齢者・障害者)	29,230
(3) 人と文化を育てるまちづくり	
精道小学校校舎建替整備事業	10,500
中学校耐震整備事業	122,400
学校園創立記念事業	551
教育工学システム事業	43,622
子育てセンター運営事業	10,630
国体準備経費	5,458
(4) 快適でうるおいのある都市づくり	
土地区画整理事業(西部第二地区)	538,027
都市計画道路街路事業	2,890,646
南芦屋浜地区幹線道路整備事業	395,000
南芦屋浜地区公園・緑地整備事業	310,000
大気汚染対策緑地建設事業(総合公園整備)	165,187
火葬場整備事業	441,832
芦屋市豊園使用者募集	105,972
(5) 市民と協働してつくる自立した行政基盤づくり	
市長と市民の懇談会に関する経費	295
行政評価システム構築経費	5,000
住民基本台帳ネットワークシステム開発経費	17,489

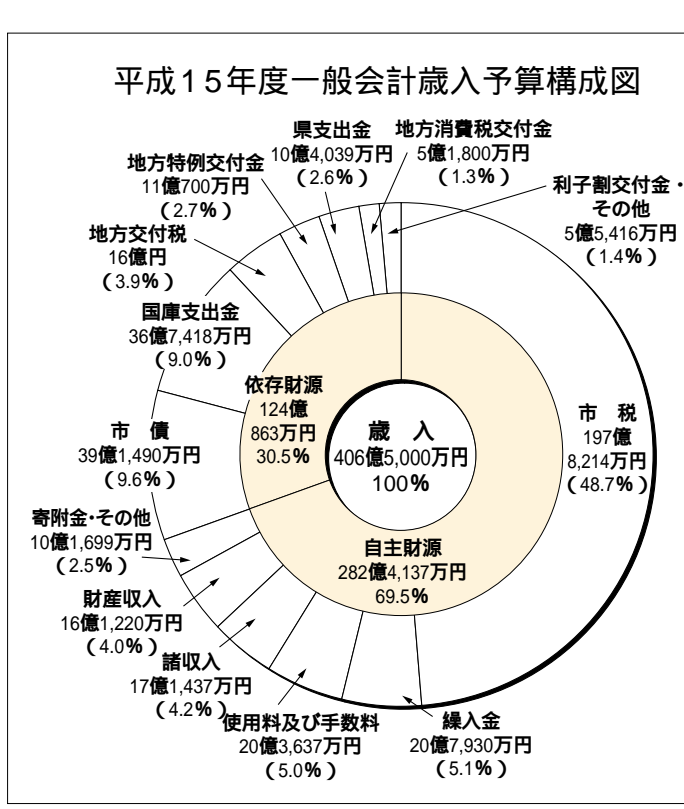
市民1人当たりの市税収入は、223,823円
市民1人当たりに使われるお金は、459,930円

公債費	土木費	民生費	教育費
110,711円	96,265円	80,061円	49,023円
総務費	衛生費	消防費	諸支出金
45,068円	44,817円	13,734円	10,371円
議会費	商工費	予備費	災害復旧費
4,787円	2,999円	1,131円	554円
農林水産業費	労働費		
220円	189円		
合計 459,930円			

*市民1人当たり使われるお金は、それぞれの歳出額を平成15年1月31日現在の推計人口(88,383人)で割った額です。

平成15年度予算案概要
財政健全化に向けた緊縮・復興仕上げ予算
問い合わせ 財政課 38-2011

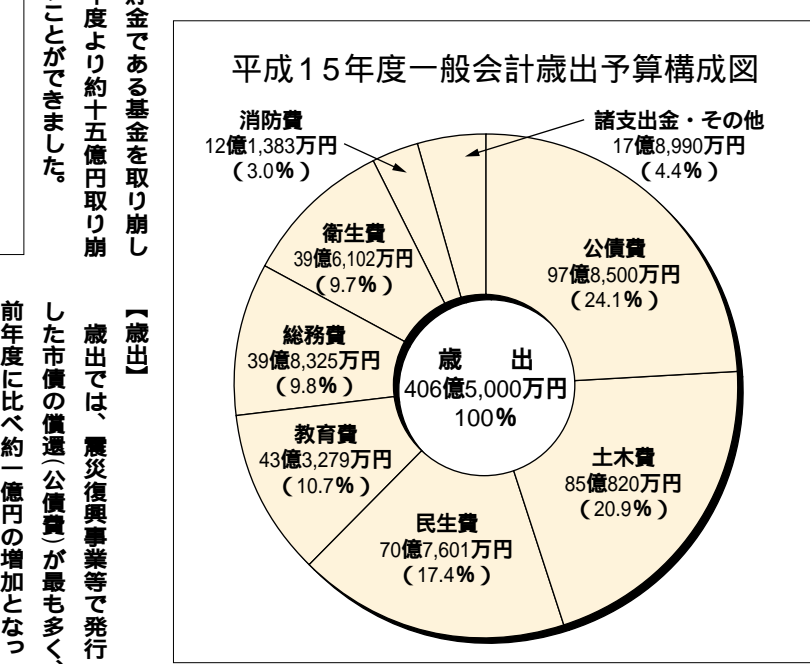
二月二十一日開会の市議会に提案した、平成15年度予算(案)の概要をお知らせします。
市の予算は、一般会計、特別会計、企業会計、特別会計、別会計、企業会計、財産区会計の四種構成の予算で構成されています。
一般会計は、市の代表的な予算であり、住宅や道路・公園の整備、教育・福祉のサービスに使われる行政運営の基本的な予算といえます。
特別会計は、一般会計とは別に、特定の収入・支出を一般と区別して処理するための予算です。企業会計は、病院事業と水道事業の二つです。これら二つの会計を合計すると予算総額は七百四十億三千五百八十九万円で、この予算額で震災復興事業の早期完成と、市民の皆さんの生活に必要な事業を行っていくことになります。



【歳入】
歳入は、震災復興事業等で飛行した市債の償還(公債費)が最も多く、前年度に比べ約一億円の増加となっています。
次は土木費で、区画整理事業や街路事業などの震災復興事業の関係で多くなっていますが、前年度に比べ約四十億円の減少となっています。
投資的設備の減少が主な要因です。三番目に多いのは民生費ですが、児童扶養手当や生活保護の扶助費の関係で増加しています。
教育費は、岩園小学校舎建て替え工事等が完了したことなどにより減少しています。
その他の重点として、平成15年度予算は、震災復興事業の早期完成と財政健全化を旨として予算を編成しました。

【歳入】
歳入で最も多いのは、市税です。市民の皆さんや事業者から納めていただく税金で、全体の約四九パーセントを占めています。前年度に比べ約十億円の減少、震災時を除くと昭和六十二年の水準になっています。
次に多いのは市債で、約一パーセントを占めています。市債は市の借金ですが、住宅や学校など、一度に多額のお金が必要となるに借り入れするため、長期間にわたって返済するため、単年度の財政負担は軽減され、市税などの財源を他の事業に使うことができます。また、将来施設を利用する人にも公平に負担していただけることとなります。
三番目に多いのは国庫支出金で、

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	406億5,000万円	8.9
特別会計	235億5,870万円	1.1
国民健康保険事業	64億3,700万円	11.6
下水道事業	38億9,500万円	8.0
公共用地取得費	4億 400万円	44.8
都市再開発事業	2,400万円	22.6
老人保健医療事業	85億1,400万円	2.7
駐車場事業	2億8,470万円	0.6
介護保険事業	40億円	14.5
企業会計	97億8,199万円	1.8
病院事業	62億5,008万円	1.5
水道事業	35億3,191万円	8.3
財産区会計	4,520万円	79.5
合計	740億3,589万円	4.7



【歳出】
歳出は、震災復興事業等で飛行した市債の償還(公債費)が最も多く、前年度に比べ約一億円の増加となっています。
次は土木費で、区画整理事業や街路事業などの震災復興事業の関係で多くなっていますが、前年度に比べ約四十億円の減少となっています。
投資的設備の減少が主な要因です。三番目に多いのは民生費ですが、児童扶養手当や生活保護の扶助費の関係で増加しています。
教育費は、岩園小学校舎建て替え工事等が完了したことなどにより減少しています。
その他の重点として、平成15年度予算は、震災復興事業の早期完成と財政健全化を旨として予算を編成しました。

9ch 広報番組ガイド

「日本と世界の貨幣」コレクション展
3月26日~4月7日(火曜日休館) / 市民センター3階・常設展示場
展示コレクション 日 時 4月5日(土)午前10時~11時
説明会 会 場 市民センター・講義室<要予約>
大阪造幣局・貨幣博物館見学会<参加者募集>
日 時 4月3日(木)午前9時30分~正午
集合 午前9時30分 J R芦屋駅改札前(時間厳守)
費用 交通費実費
募集 30人(成人を含む家族・グループ、多数の場合抽選)
申し込み 参加者全員の氏名・年齢・代表者の住所・電話番号を記入し、3月28日(金)までに電話またはファクスで下記へ
問い合わせ スポーツ・青少年課 22-0358 FAX22-1633

ユニセフカップ 教育を世界すべての子どもたちに!
4月13日(日) 2003芦屋国際ファンラン 雨天決行
種目(年齢制限)・スタート時間・参加費用等
ファミリー3km(6歳以上) / 午前10時 / 1,000円(親子参加は半額)
男子・女子5km(12歳以上) / 午前10時30分 / 2,000円
男子・女子10.5km(16歳以上) / 午前11時10分 / 3,000円
男子・女子ハーフ(16歳以上) / 正午 / 4,000円
お花見メモリアルウォーク10km(12歳以上) / 午前8時30分 / 1,000円
ゼッケン引き換えは、午前8時から各種目スタート1時間前まで。
申し込み 所定の申込書(公共施設に配置)に必要事項を記入し、返信用はがきに切手をはり、郵便番号・住所・氏名を明記の上、3月28日(金)(銀行・ATM振り込みの場合)<必着>で、参加料と一緒に封書で「芦屋国際ファンラン係」(〒530-8274 大阪市北区梅田2-4-9)へ
問い合わせ スポーツ・青少年課 22-7910

水道まめ知識
Q 水道の工事をお願いしたいのですが、どの様に頼めばいいのでしょうか?
A 給水栓や蛇口など給水装置の工事は、市の指定給水装置工事業者で行う必要があります。指定給水装置工事業者は、現在約五百十業者を指定していますので、工務課給水担当へお問い合わせください。芦屋市のホームページにも掲載されています。
また、水道工事の契約は指定工事業者とお客様の間で行っていただくものです。契約については、次のことについて事前に確認するようにしてください。
① 複数の指定工事業者から、見積りをもらって、工事内容や費用についての説明をもらって、工事の修繕やアフターサービスについて確認しておく。
② 工務課給水担当へお問い合わせ 38-2083

芦屋川カレッジ(高齢者大学)の募集

問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

【芦屋川カレッジ第20期生】

日程 5月7日～平成16年3月10日 毎週水曜日(必修コース36回、選択コース15回)
 会場 市民センター401室ほか
 内容 必修コース...午前10時～11時30分(全員受講)
 選択コース...午後1時15分～2時45分(3週間に1回、以下の2コースから選択)
 国際コース...国際化時代の真相を探る
 探求コース...自然環境から歌謡曲まで、楽しく時代を探る
 定員 100人(国際コース、探求コース各50人)
 資格 市内在住満60歳以上で初めて受講するかた
 (昭和18年4月1日以前に生まれたかた)
 受講料 年間10,000円

【芦屋川カレッジ聴講生】

資格 芦屋川カレッジの修了生
 定員 各コース50人(1人1コース)
 受講料 年間2,700円
 自主企画を除く9回に出席



【芦屋川セカンド・カレッジ】

資格 芦屋川カレッジの修了生
 日程 Aコース: 5月19日～平成16年3月15日(全10回)月曜日、午前10時～11時30分
 Bコース: 5月15日～平成16年3月11日(全10回)木曜日、午前10時～11時30分
 会場 市民センター401室中心
 内容 Aコース「激動の20世紀日本～なぜ戦争の世紀になったか」
 Bコース「身近なものを通して見えてくる東西世界」
 定員 各コース100人(1人1コース)
 受講料 年間3,000円

申し込み

往復はがき、または電子メールアドレス(携帯電話不可)をお持ちのかたは公民館ホームページから、希望講座名 住所 氏名 電話番号 年齢 性別 第2希望があればその旨 芦屋川カレッジの申し込みは生年月日(それ以外は修了期を明記)を記入の上、3月31日(月)＜消印有効＞までに公民館へ郵送。応募者多数の場合は市内在住者優先で抽選。定員に満たない場合は引き続き先着順で受け付けします。受講決定者には、返信はがきまたは電子メールで詳細を連絡します。(申し込み方法と同じ方法でお知らせします。)

公民館ホームページ <http://www.city.ashiya.hyogo.jp/acc/kominkan.html>

石油貯蔵施設立地対策等交付金で 消防用資機材を購入しました



水難救助用ゴムボート

消防本部では、平成14年度石油貯蔵施設立地対策等交付金で、水難救助用ゴムボート(1式)・空気呼吸器(2基)・予備ポンプ(2本)・携帯無線機(5W1基)を購入し、消防用資機材の充実強化を図りました。



携帯無線機、呼吸器など

問い合わせ 消防本部警防課 ☎32-2345

明日の町 つくるあなたの 那一票 統一地方選挙が始まります

県議会議員選挙 / 4月13日(日)
 市長・市議会議員選挙 / 4月27日(日)

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100

芦屋市で投票できる人

- 県議会議員選挙
- ・昭和58年4月14日以前に生まれた人
 - ・平成15年1月3日以前に芦屋市に転入届をし、引き続き住民基本台帳に登録されている人
 - ・平成14年12月13日以後に芦屋市から県内へ転出し、芦屋市の選挙人名簿に登録されている人(新住所地で発行。県内居住の証明書が必要)
- 市長・市議会議員選挙
- ・昭和58年4月28日以前に生まれた人
 - ・平成15年1月19日以前に芦屋市に転入届をし、引き続き住民基本台帳に登録されている人
 - ・市外へ転出された人は、投票できません。

選挙人名簿の縦覧

県議会議員選挙
 日時 4月4日(金)・5日(土)午前8時30分～午後5時
 場所 選挙管理委員会事務局(市役所南館4階)
 市長・市議会議員選挙
 日時 4月20日(日)・21日(月)午前8時30分～午後5時
 場所 選挙管理委員会事務局(市役所南館4階)

不在者投票

投票日に仕事・旅行・レジャー等の予定のある人は、不在者投票制度をご利用ください。

県議会議員選挙

市役所北館1階玄関西側
 期間 4月4日(金)～12日(土)
 時間 午前8時30分～午後8時
 ラポルテ本館3階市民サービスコーナー東側
 期間 4月6日(日)～12日(土)
 時間 午前10時～午後8時

市長・市議会議員選挙

市役所北館1階玄関西側
 期間 4月20日(日)～26日(土)
 時間 午前8時30分～午後8時
 ラポルテ本館3階市民サービスコーナー東側
 期間 4月20日(日)～26日(土)
 時間 午前10時～午後8時

郵便投票

身体障害者手帳または戦傷病者手帳を所持しているかたで下表の障害のあるかたは、郵便投票による不在者投票ができます。

あらかじめ郵便投票証明書の交付を受ける必要がありますので、お問い合わせください。

手帳の種類	障害名	障害の程度
身体障害者手帳	両下肢、体幹または移動機能の障害	1級もしくは2級
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸または小腸の障害	1級もしくは3級
戦傷病者手帳	両下肢または体幹の障害	特別項症から第2項症
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸または小腸の障害	特別項症から第3項症

歴史散歩 47

芦屋ゆかりの人々3
日本画家・村上華岳

孤高の画家、村上華岳(二八八〇～一九三九年)は阪神間の人々にとって忘れることのできぬ画人といえましょう。没後半世紀をこえた今日、日本近代美術史における位置は確固としたものがあります。

生まれは大坂天満で本姓は武田震一といいますが、幼くして花隈の叔母に引き取られ村上家を継ぐことになりました。絵は京都市立美術工芸学校で竹内栖鳳(たけうちせいほう)について四条派の画法を修得し、さらに京都市立絵画専門学校に進んで画業を磨きました。同期生には入江波光、神原紫峰、土田麦暉、小野竹喬、野長瀬晩花など、綺羅星のような画人が結集していました。その中にあって、華岳は前記の同期生等と結成した国画創作協会(国展)で精力的に作品を発表していきます。しかし、華岳の華岳たる所以は、自らの画業は売名ではなく無縁の自己修養の一環と考えていたことにあります。

「書をなさんとするとき 捨身放身 邪心を去り 正気を喚起し 本分に安心し 気魂に満つべし」という彼の手記に明らかによつて、その画業は絵画修行というより「宗教修行」に近いものがあります。

芦屋には、喘息の発作を療養するという名目で大正十二年から昭和二年まで暮らし、武庫の山をこよなく愛した華岳は、その懐に抱かれた暮らした夢を見ていたのかも知れません。ここに紹介する小品(昭和五年)は、芦屋の城山をスケッチしたものと思われます。



「山 素描」 (個人蔵)

問い合わせ 美術博物館 ☎5432